

第3節 電気化学キャパシタの種類別－研究者別論文発表件数上位ランキング

電気化学キャパシタの種類別の研究者所属機関別論文発表件数の上位ランキングを表3-5-5に示す。電気二重層キャパシタでは、関西大学が80件で最も多く、パワーシステムが2位、明電舎が3位となっている。レドックスキャパシタでは、東京農工大学が44件で最も多く、信州大学が2位、台湾の国立中正大学が3位となっている。ハイブリッドキャパシタ一般では、中国の復旦大学が12件で最も多く、イタリアのボローニャ大学が2位となっている。リチウムイオンキャパシタでは、富士重工業が9件で最も多く、中国の復旦大学が2位、東京農工大学が3位となっている。

表3-5-5 電気化学キャパシタの種類別の論文発表件数上位ランキング（全論文誌）

a) 電気二重層キャパシタ

順位	研究者所属機関名(国籍)	発表件数
1	関西大学	80
2	パワーシステム	60
3	明電舎	51
4	日本電気	42
5	産業技術総合研究所	38
6	ポズナン工業大学(ポーランド)	37
6	山口大学	37
8	鉄道総合技術研究所	35
9	信州大学	33
10	パナソニック	32

b) レドックスキャパシタ

順位	研究者所属機関名(国籍)	発表件数
1	東京農工大学	44
2	信州大学	42
3	国立中正大学(台湾)	32
4	蘭州大学(中国)	28
5	南京航空航天大学(中国)	26
6	中国科学院(中国)	24
7	国立成功大学(台湾)	22
8	延世大学(韓国)	20
8	韓国科学技術研究院(韓国)	20
10	産業技術総合研究所	19

c) ハイブリッドキャパシター一般（リチウムイオンキャパシタを除く）

順位	研究者所属機関名(国籍)	発表件数
1	復旦大学(中国)	12
2	ボローニャ大学(イタリア)	8
3	延世大学(韓国)	7
3	東京農工大学	7
5	カリフォルニア大学(米国)	6
5	信州大学	6
7	CIRIMAT(フランス)	5
7	オタワ大学(カナダ)	5
7	ケベック大学(カナダ)	5
7	佐賀大学	5
7	山口大学	5
7	南京航空航天大学(中国)	5

d) リチウムイオンキャパシタ

順位	研究者所属機関名(国籍)	発表件数
1	富士重工業	9
2	復旦大学(中国)	7
3	東京農工大学	6
4	ラトガース大学(米国)	5
4	中国科学院(中国)	5
6	オルレアン大学(フランス)	3
6	ニュージャージー州立大学(米国)	3
6	ブルックヘブン国立研究所(米国)	3
6	フロリダ州立大学(米国)	3
6	ポズナン工業大学(ポーランド)	3
6	ボルドー第1大学(フランス)	3
6	延世大学(韓国)	3
6	清華大学(中国)	3